

びとう和広後援会ニュース

2017.9.25

第 46 号

発行責任者
浅居繁樹

安心して元気な 三田のために 頑張ります！



幼稚園運動会の組体操！

9/23

仲秋の候、後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

去る9月20日、国連本部の核兵器禁止条約署名式に唯一の被爆国である日本の政府は参加しませんでした。核兵器を禁止して、紛争を抑止して行く、国際的な流れに逆らい、「対話」ではなく「圧力」、アメリカの軍事オプションも支持する。本来の目的は、「北朝鮮を対話の場に出し、皆で核兵器開発を放棄させる」はずが、アメリカと一緒にあおっています。北朝鮮にとって日本は、アメリカへの通過点としか見ていないのに、自分から標的になりたがっているように見えます。いままで国際平和の先頭にいたはずの日本が、大きく信頼を失った感じがします。

そして、衆議院を解散して総選挙、何のための選挙なのでしょう？景気や働き方改革は、どうなるのでしょうか。危機感をあおり、改憲や防衛強化は、戦争への道、不安です。

三田市では、森市長2年目の春、10年先までの収支予測が出され、今後7年間で71.4億円の収支不足が見込まれ、年10億円の支出削減が目標となりました。まず、給与削減を市長20%副市長15%教育長10%部長級5%課長級4%に加え、10月から一般職も2.5%削減となりました。これからは、一層の緊縮財政に努めなければなりません。

三田市議会は、8月20日～9月19日に定例議会が開かれ、補正予算など議案が審査され、全議案が可決されましたが、子育てするならゼットタイ三田の柱、子どもの医療費無料を、一定所得があれば一部負担となりました(来年7月より)。

今回の一般質問は、持ち時間40分の個人質問で、市民の会が私が質問に立ちました。(市政報告参照)

後援会では、7月5日に市政懇談会、9月20日に三菱電機構内市政報告会を開催し、公共施設管理計画の状況や最近の活動について報告を行ないました。

今後は、10月7日開催三菱電機三田製作所オータムフェスティバルへの協賛、11月にボウリング大会開催などを予定しています。多くのご参加をお願い致します

これから迎える急激な少子高齢化と厳しい財政に対し、皆様の声をしっかりと聞きし、IT技術を活かした抜本的な改革を訴えながら、皆様の声を活かせる市政へと、頑張ります。引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



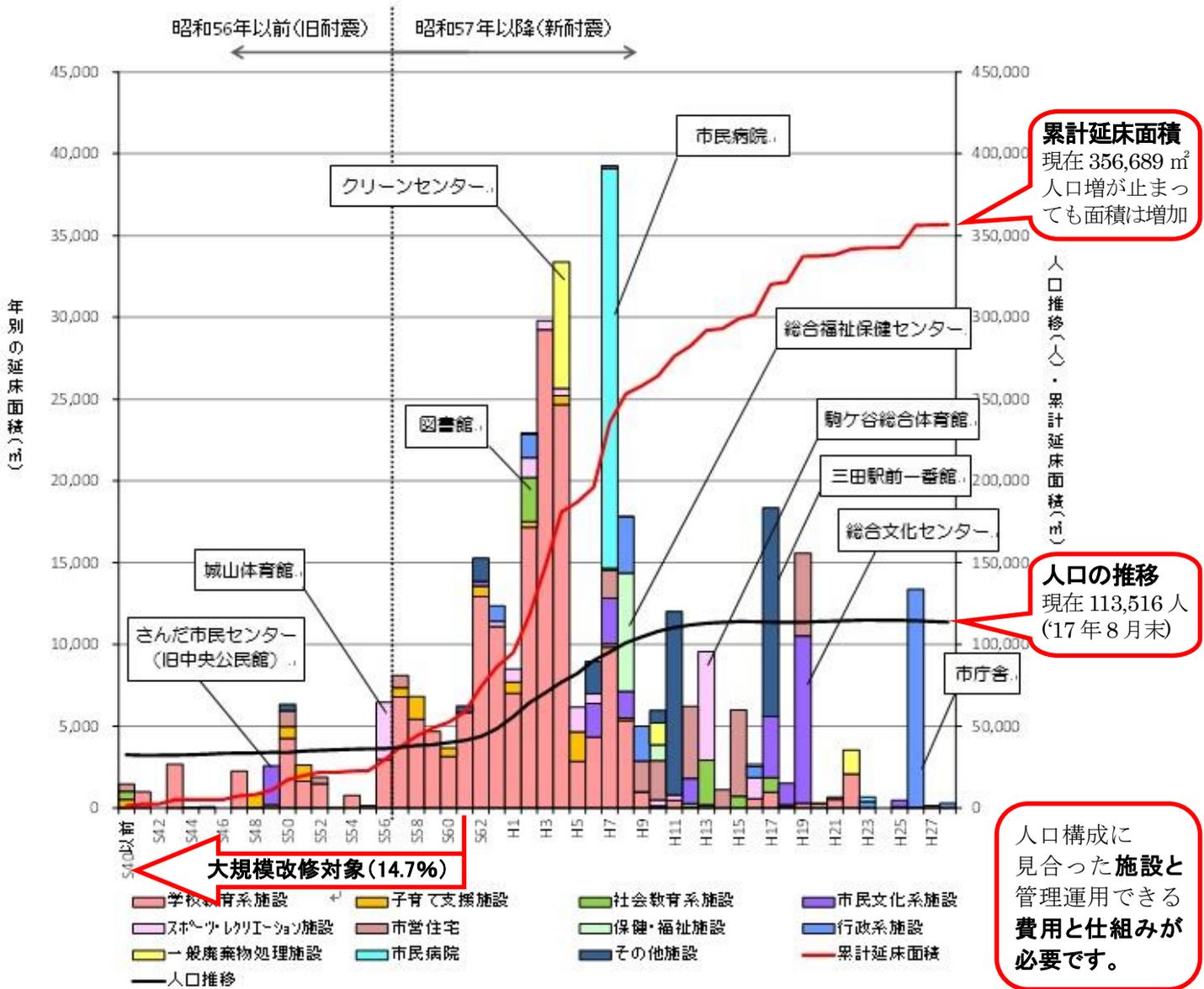
三田市議会議員 かずひろ びとう和広



びとう和広の 視点(続き)

公共施設全125施設の建築時期と延床面積と人口推移を重ねたグラフです。
急成長した三田だから、公共施設の建設時期が集中し、改修時期が迫っています。

施設分類別・建築年別延床面積と人口推移



三田市所有の主な公共施設の分類別一覧表 (2015年3月時点)

施設分類 (大分類)	施設数 (か所)		延床面積 (m ²)		主な施設
		構成比		構成比	
学校教育系施設	30	24.0%	174,321	48.9%	小学校、中学校、給食センター
子育て支援施設	39	31.2%	10,621	3.0%	幼稚園、保育所、放課後児童クラブ、多世代交流館、青少年育成センター
社会教育系施設	7	5.6%	7,659	2.1%	図書館、中央公民館、ふるさと学習館など
市民文化系施設	10	8.0%	26,341	7.4%	市民センター、総合文化センターなど
スポーツ・レクリエーション系施設	10	8.0%	17,638	4.9%	駒ヶ谷総合体育館、ガラス工芸館など
市営住宅	11	8.8%	24,607	6.9%	西山団地、南が丘団地、大池南団地など
保健・福祉施設	2	1.6%	8,187	2.3%	障害児療育センター、総合福祉保健センター
行政系施設	4	3.2%	22,642	6.3%	市庁舎、消防署消防庁舎など
一般廃棄物処理施設	3	2.4%	10,679	3.0%	クリーンセンター、リサイクルセンターなど
市民病院	1	0.8%	24,828	7.0%	市民病院
その他施設	8	6.4%	29,166	8.2%	新三田駅前駐輪・駐車場、聖苑など
計	125	100.0%	356,689	100.0%	

※上記の他、消防器具庫や倉庫など、小規模(概ね延床面積100m²未満)なものがあります。

※子育て支援施設のうち校舎内併設の放課後児童クラブについては、施設数のみカウントしています。

三田は新耐震基準の建物が主で、旧施設も大半補強済みです。
大規模改修の目安は築31年以上、対象棟は14.7%。
昭和55(1980)年から北摂三田ニュータウンの開発にともない、
インフラと学校教育系施設を中心に公共施設の整備を進め、
平成7(1995)年以降は、保健・福祉施設、市営住宅、スポーツ・
レクリエーション系・市民文化系施設などを整備しました。

7年間で71.4億円の収支不足に加え、
クリーンセンターや市民病院はじめ、
ニュータウン開発の関連で建設された
建物やインフラが、今後、大規模改修や
更新となります。

びとう和広後援会より

今年4月の後援会総会以降は

7/5: びとう和広後援会市政懇談会

7/22: 海遊館ツアー…三菱電機労組(三田)との共催

9/20: 三菱電機三田製作所構内市政報告会

等の後援会関連行事を実施しました。



びとう和広市政懇談会

6月議会的一般質問についての報告と、ご支援に対する感謝を申し上げました。



びとう和広市政報告会

びとう和広市政報告会

構内市政報告会では、「どうなる？三田の公共施設」をテーマに、財政が厳しい中の公共施設管理計画の概要とびとうが進めてきた政策の成果、これからの三田の課題と対策について、報告致しました。(詳細:2~3頁参照)

多くのご参加ありがとうございました。

また、9月議会のびとう和広一般質問を、後援会役員で傍聴してまいりました。受付すれば傍聴席に入場できます。びとうは、財政危機対策など熱く質問していました。

後援会会長 ご挨拶

後援会の皆さまには、日頃より後援会活動に対しまして、ご支援・ご協力をいただいておりますこと、感謝申し上げます。

速いもので、皆様のご支援で4期目の当選から、一年が経ちました。若者や働く皆様の声を聴く機会をできる限り増やしてまいりました。

これからも、後援会として「びとう和広」と皆さまの橋渡しができるような活動を実施し、「びとう和広」の政策構築と実現への取組みを支援するとともに、将来に向けて、安心して暮らせる社会をめざして取り組んでいきますので、後援会の皆様の更なるご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



びとう和広後援会
会長 浅居 繁樹

民進党兵庫第5区代表より

びとう和広後援会の皆様には大変お世話になり、誠に有難うございます。

少子高齢化も、人口減少も、財政赤字も、何十年前から警鐘が鳴らされてきました。民主党政権はその対策をめざしていましたが、頓挫してしまいました。自民政権では、何ら改善することなく、深刻化し、将来への大きな不安になっています。まさしく政治の責任です。

政治を変え、税金の使い道を変え、子どもたちの世代に、持続可能で安心して暮らせる社会を伝えていかなければなりません。

びとう和広議員共々一生懸命頑張りますので、何卒よろしく願いいたします。

梶原やすひろプロフィール

- 昭和31年10月14日生まれ
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 参議院議員秘書⇒企業経営。
商工会、雇用開発協会など、
地域活動に積極的に取り組む。
- 衆議院当選2回。
農林水産大臣政務官、
党組織委員長代理、
党農林水産部門会議副座長、
などを歴任。
- 現在、自然循環型農場に挑戦中。
民進党兵庫県連副代表。



民進党
兵庫第5区代表
梶原やすひろ

これからは

10/7: 三菱電機三田 オータムフェスティバルに協賛
(土)11:00~16:00 三菱電機三田製作所構内

11月: ボウリング大会

12月: 支援組織挨拶廻り

等の後援会活動を予定しています。

また、「皆様との対話」をモットーに、毎月2回の構内市政相談会を続けるとともに、後援会のお宅訪問や労組訪問を続けてまいります。皆様のご支援・ご参加・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号

三菱電機労働組合三田支部気付

Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号

Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bitokazuhiro.com>